

2018年6月22日 全10頁

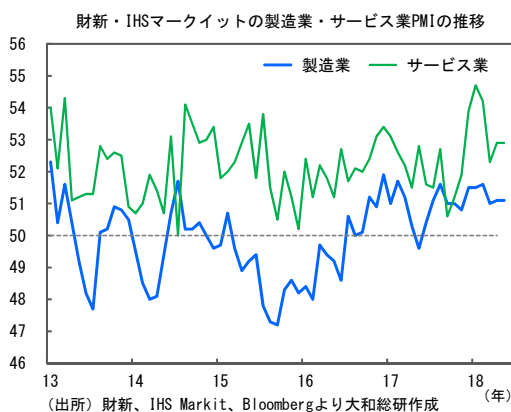
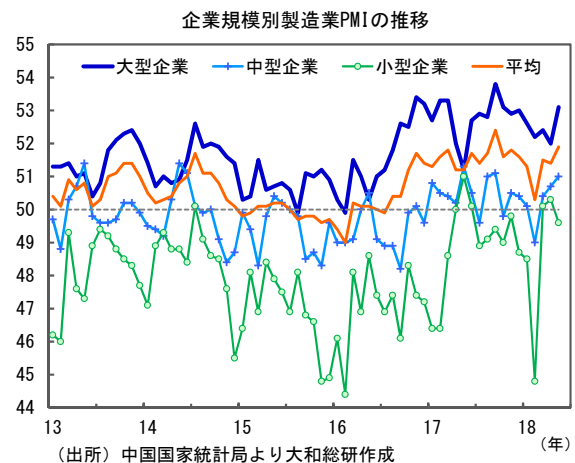
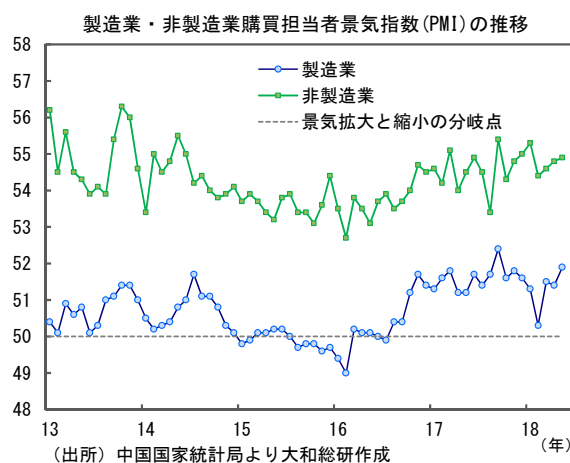
グラフで見る 2018年5月の中国経済動向

経済調査部 研究員 永井 寛之

景況感

- ◆ 中国国家統計局と中国物流購入連合会が発表した2018年5月の製造業購買担当者景気指数(PMI)は51.9と4月から0.5pt上昇した。商品価格が上昇していることにより石油・石炭産業が好調であった。非製造業PMIは54.9と、4月より0.1pt上昇した。
- ◆ 上記製造業PMIを企業規模別に見ると、大型企業は53.1(4月は52.0)、中型企業は51.0(4月は50.7)と上昇したが、小型企業は49.6(4月は50.3)と低下した。
- ◆ 中国メディアの財新と調査会社IHSマークイットが発表した5月の製造業PMIは51.1、サービス業PMIは52.9と、いずれも4月から変化がなかった。

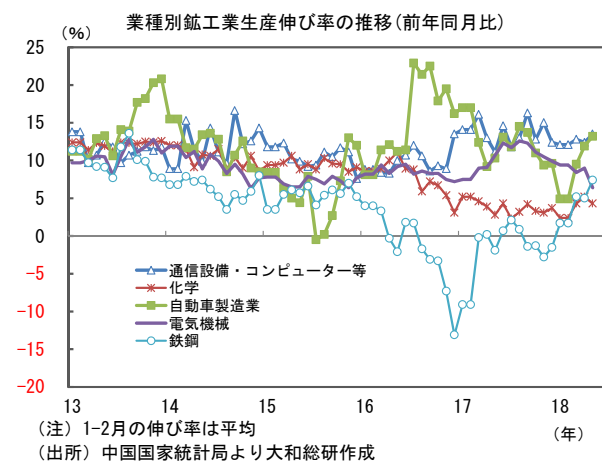
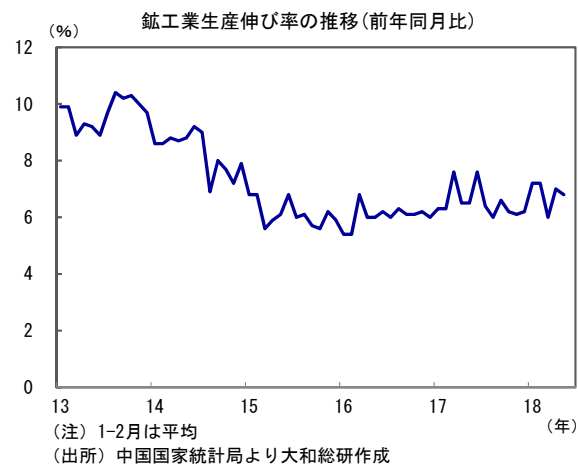
各種 PMI



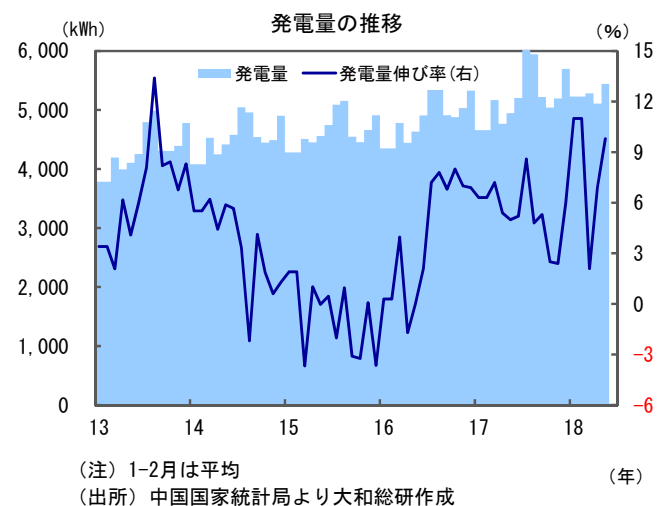
鋳工業生産

- ◆ 2018年5月の鋳工業生産は前年同月比6.8%増となり、4月の同7.0%増から伸び率が低下した。1～5月は前年同期比6.9%増と、2017年の前年比6.6%増からは加速している。2017年の売上上位5業種の動向を見ると、5月は通信設備・コンピューター等は前年同月比13.5%増、鉄鋼は同7.4%増、自動車製造業は同13.2%増と伸び率が上昇したものの、化学は同4.3%増、電気機械は同6.4%増と伸び率が低下した。
- ◆ 18年5月の発電量は前年同月比9.8%増、1～5月の前年同期比8.5%増と、17年の前年比5.9%増から伸び率が上昇している。

鋳工業生産



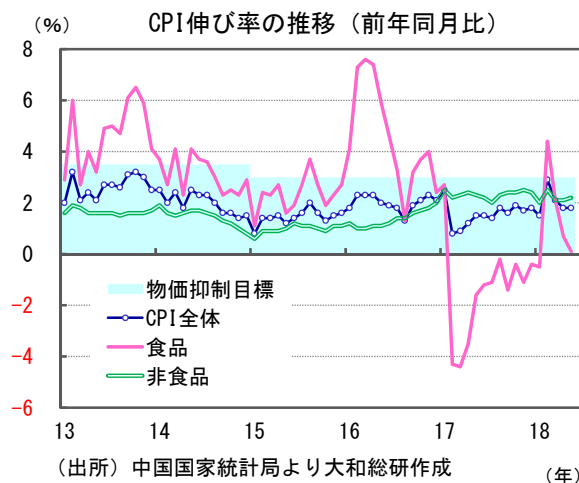
発電量



物価

- ◆ 2018年5月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比1.8%上昇と、4月の同1.8%上昇から伸び率が変わらなかった。食品は同0.1%上昇、非食品は同2.2%上昇であった。食品価格の上昇幅縮小は、肉類が、4月：同8.8%下落→5月：同9.3%下落、とマイナス幅が拡大したことなどが主因である。豚肉は供給過剰により、4月：同16.1%下落→5月：同16.7%下落とマイナス幅が拡大し、CPI全体を▲0.43%pt押し下げた。一方、生鮮野菜は、4月：同8.2%上昇→5月：同10.0%上昇、卵は、4月：同14.9%上昇→5月：同20.8%上昇、と伸び率が上昇した。非食品では、ガソリン価格の上昇などを要因に交通・通信の伸び率が4月：同1.1%上昇→5月：同1.8%上昇と伸び率が上昇した。
- ◆ 5月の工業製品出荷価格指数（PPI）は前年同月比4.1%上昇と、4月の同3.4%上昇から伸び率が上昇した。うち石炭・石油などの採掘工業品価格は、原油価格の上昇などを背景に4月：同6.1%上昇→5月：同8.1%上昇、鉄鋼などの原材料工業品価格は、4月：同5.7%上昇→5月：同7.4%上昇と、いずれも伸び率が上昇した。

消費者物価

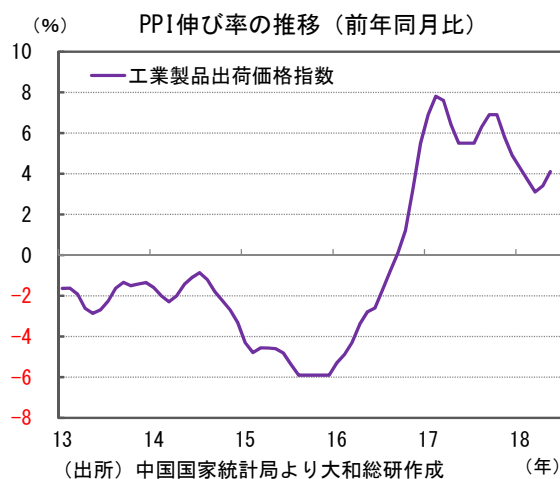


消費者物価指数 分類別伸び率（前年同月比、%）

	CPI	食品	衣服	住居	生活用品 及び サービス	交通・ 通信	教育文化 ・ 娯楽	医療 保険	その他 用品・ サービス
2017/02	0.8	-4.3	1.2	2.5	0.5	1.7	1.8	5.1	3.1
2017/03	0.9	-4.4	1.3	2.4	0.7	2.0	2.3	5.3	2.9
2017/04	1.2	-3.5	1.3	2.4	0.8	1.8	2.6	5.7	3.4
2017/05	1.5	-1.6	1.3	2.5	1.0	1.1	2.6	5.9	2.9
2017/06	1.5	-1.2	1.4	2.5	1.1	0.1	2.5	5.7	2.8
2017/07	1.4	-1.1	1.4	2.5	1.1	-0.2	2.5	5.5	1.3
2017/08	1.8	-0.2	1.3	2.7	1.3	0.7	2.5	5.9	1.4
2017/09	1.6	-1.4	1.3	2.8	1.4	0.5	2.3	7.6	1.4
2017/10	1.9	-0.4	1.2	2.8	1.5	0.8	2.3	7.2	1.8
2017/11	1.7	-1.1	1.2	2.8	1.5	1.3	2.0	7.0	1.7
2017/12	1.8	-0.4	1.3	2.8	1.6	1.2	2.1	6.6	1.9
2018/01	1.5	-0.5	1.4	2.7	1.5	0.2	0.9	6.2	1.2
2018/02	2.9	4.4	1.1	2.2	1.8	1.5	3.7	6.0	1.7
2018/03	2.1	2.1	1.1	2.2	1.6	0.3	2.2	5.7	1.2
2018/04	1.8	0.7	1.1	2.2	1.5	1.1	2.0	5.2	0.9
2018/05	1.8	0.1	1.1	2.2	1.5	1.8	1.9	5.1	1.0

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

生産者物価



工業製品出荷価格指数の内訳（前年同月比、%）

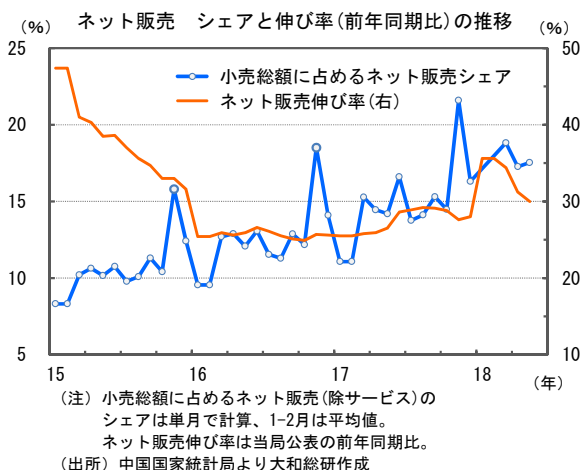
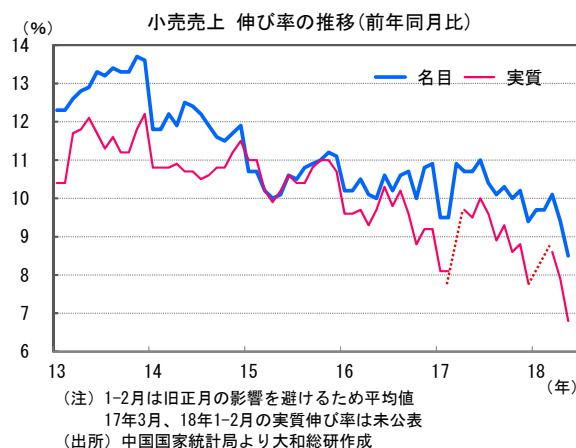
	工業製品出荷価格指数				生活財価格				耐久 消費財
	生産財価格			加工 工業品	生活財価格			日用品	
	採掘 工業品	原材料 工業品	加工 工業品		食品	衣類	日用品		耐久 消費財
2017/03	7.6	10.1	33.7	14.9	6.5	0.7	1.3	1.4	-0.4
2017/04	6.4	8.4	28.3	13.0	5.2	0.7	0.5	1.5	1.4
2017/05	5.5	7.3	22.7	11.1	4.6	0.6	0.3	1.5	1.1
2017/06	5.5	7.3	18.3	10.0	5.4	0.5	0.1	1.3	1.0
2017/07	5.5	7.3	15.8	9.3	5.8	0.5	0.4	1.2	0.6
2017/08	6.3	8.3	18.2	11.0	6.4	0.6	0.7	1.4	0.8
2017/09	6.9	9.1	17.2	11.9	7.3	0.7	0.7	1.2	1.3
2017/10	6.9	9.0	14.7	11.6	7.5	0.8	0.6	0.9	1.9
2017/11	5.8	7.5	10.8	9.7	6.3	0.6	0.4	0.7	1.7
2017/12	4.9	6.4	9.1	8.1	5.5	0.5	0.2	0.6	1.6
2018/01	4.3	5.7	6.8	7.3	4.9	0.3	0.0	0.8	1.4
2018/02	3.7	4.8	6.4	5.9	4.2	0.3	0.0	0.5	1.1
2018/03	3.1	4.1	5.0	5.1	3.7	0.2	0.0	0.3	0.9
2018/04	3.4	4.5	6.1	5.7	3.9	0.1	0.1	0.2	0.9
2018/05	4.1	5.4	8.1	7.4	4.4	0.3	0.3	0.3	1.1

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

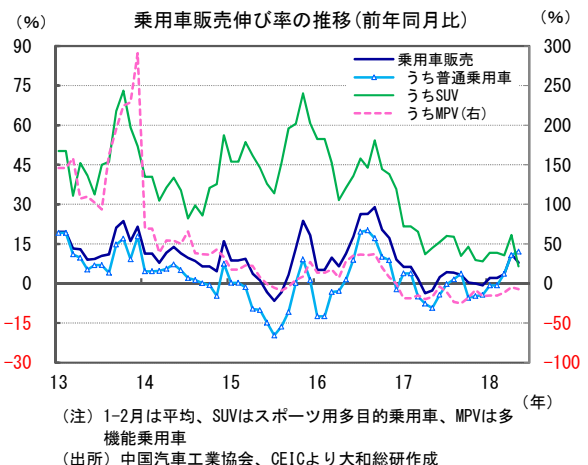
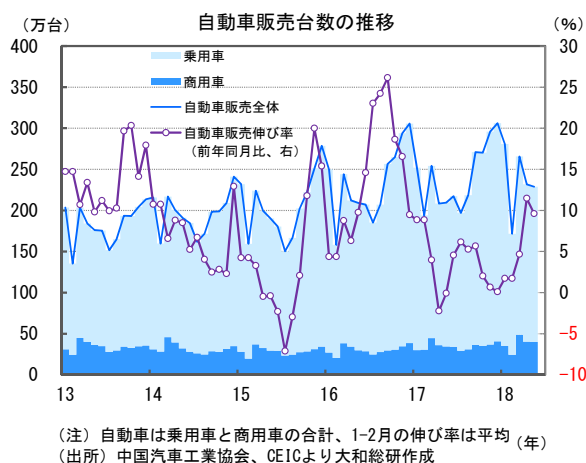
小売

- ◆ 2018年5月の小売売上（名目）は前年同月比8.5%増と、4月の同9.4%増から低下した。消費刺激が期待できる端午節が6月にずれ込んだことなどが要因だと考えられる。1～5月の名目小売は前年同期比9.5%増と2017年の前年比10.2%から減速している。5月の小売売上（実質）は前年同月比6.8%増と、4月の同7.9%増から減速した。
- ◆ 1～5月のネット販売（除サービス）は前年同期比30.0%増と2017年の前年比28.0%増から加速している。
- ◆ 中国汽車工業協会によると、5月の自動車販売台数は、前年同月比9.6%増の228.8万台であった。1～5月の累計自動車販売台数は、前年同期比5.7%増の1,179.2万台であった。5月の乗用車販売台数は前年同月比7.9%増の188.9万台、1～5月の累計では前年同期比5.1%増の990.1万台であった。新エネルギー車の販売が急増していることも販売堅調の一因であり、1～5月の乗用車販売を1.7%pt押し上げた。これは、エコカー補助金の対象車種の技術水準が6月から引き上げられることによる駆け込み販売の可能性もある。車種別（以下、5月、前年同月比）は、普通乗用車が12.1%増と伸び率が上昇したものの、SUV（スポーツ用多目的車）が6.5%増と伸び率が低下した。MPV（多機能乗用車）は7.1%減とマイナス幅が拡大した。

小売売上の推移



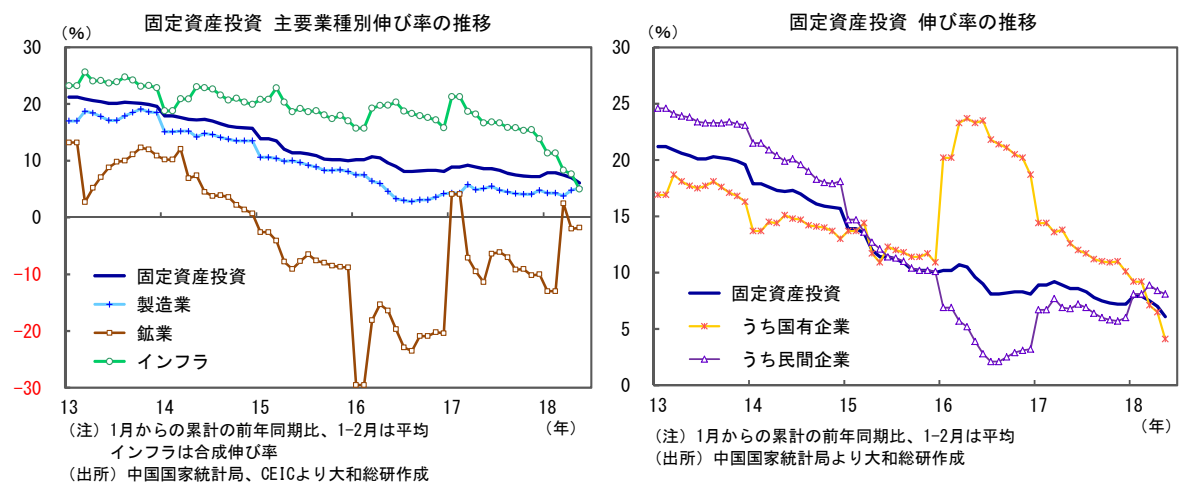
自動車販売



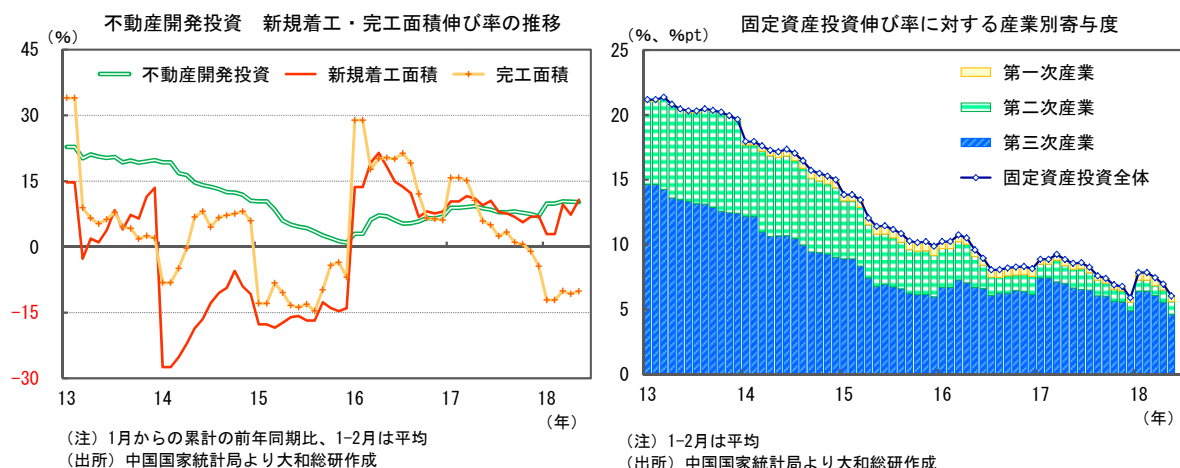
投資

- ◆ 2018年1～5月の固定資産投資は前年同期比6.1%増と、2017年の前年比7.2%増から伸び率が低下した。同じ統計でさかのぼれる1995年12月以来の最低を記録した。全体の4割弱を占める国有部門は、過剰生産能力を抱える分野を中心に新規投資が抑制された結果、1～5月は前年同期比4.1%増と2017年の前年比10.1%増から伸び率が低下した。一方、全体の6割強を占める民間部門では、新エネルギー自動車の生産が好調な自動車製造業や一般機械などの製造業さらに建設業などが好調であった結果、1～5月は前年同期比8.1%増と2017年の前年比6.0%増から伸びが上昇した。
- ◆ 1～5月の固定資産投資を主要業種別に見ると、鉱業は前年同期比1.8%減（2017年は前年比10.0%減）とマイナス幅が縮小した。交通関連や公共事業関連のPPP（官民連携）プロジェクトの一部停止や見直しが進められていることを背景に、インフラは前年同期比5.0%増（2017年は前年比13.9%増）と伸び率が低下した。製造業は前年同期比5.2%増（2017年は前年比4.8%増）と伸び率が上昇した。
- ◆ 1～5月の不動産開発投資は前年同期比10.2%増と、2017年の前年比7.0%増から伸び率が上昇した。不動産新規着工面積・完工面積は、それぞれ前年同期比10.8%増、同10.1%減であった。

固定資産投資



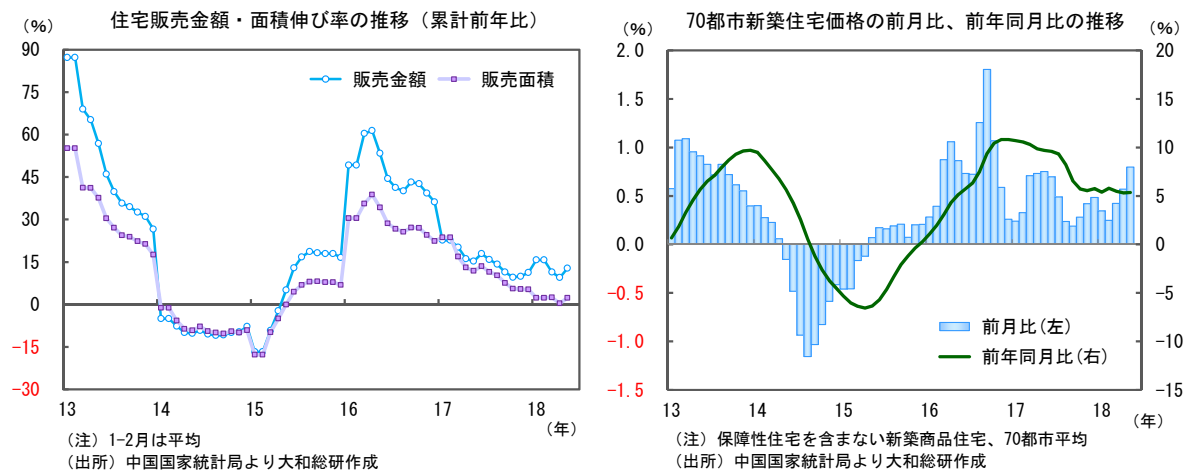
不動産開発投資、固定資産投資産業別寄与度



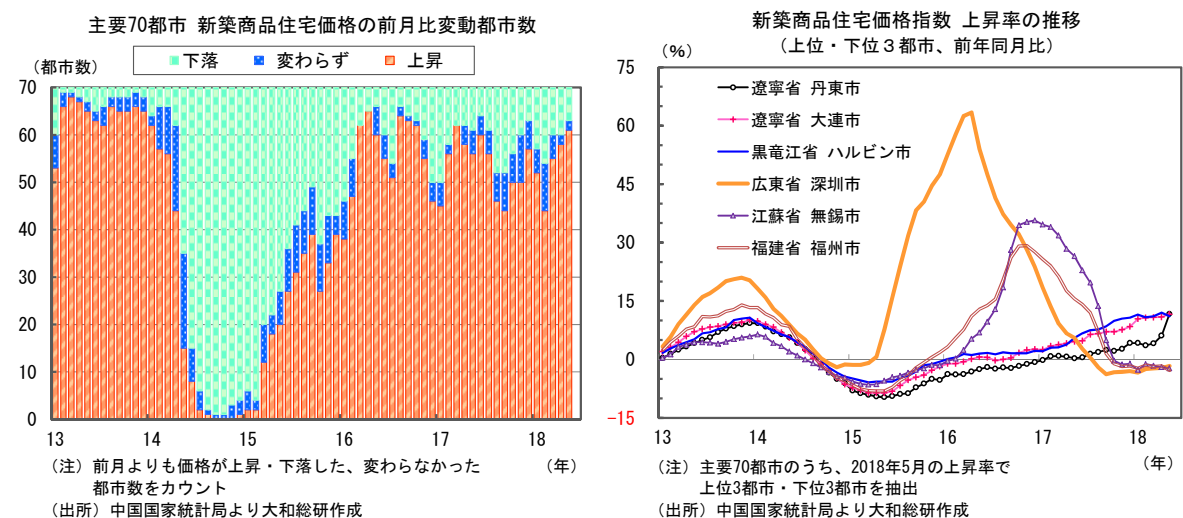
住宅

- ◆ 2018年1～5月の住宅販売金額は前年同期比12.8%増と2017年の前年比11.3%増から伸び率が上昇した。1～5月の住宅販売面積は前年同期比2.3%増と2017年の前年比5.3%増から減速している。
- ◆ 5月の主要70都市新築商品住宅価格（平均）は、前年同月比5.4%上昇、前月比0.8%上昇となり、価格は安定化している。前月比で上昇したのは61都市（4月は58都市）、下落したのは7都市（4月は10都市）、変化がなかったのは2都市（4月は2都市）となった。
- ◆ 5月の主要70都市の新築商品住宅価格上昇率の上位3都市は、遼寧省丹東市（同11.7%上昇）、遼寧省大連市（前年同月比11.6%上昇）、黒竜江省ハルビン市（同11.1%上昇）であった。一方、下位3都市は、福建省福州市（同2.8%下落）、江蘇省無錫市（同2.3%下落）、広東省深圳市（同1.7%下落）、となった。深圳市の住宅価格上昇率は11ヶ月ぶりに最下位から脱出し、販売面積の前年比はプラスに転じている。

住宅販売金額・面積の伸び率推移、新築住宅価格の伸び率推移



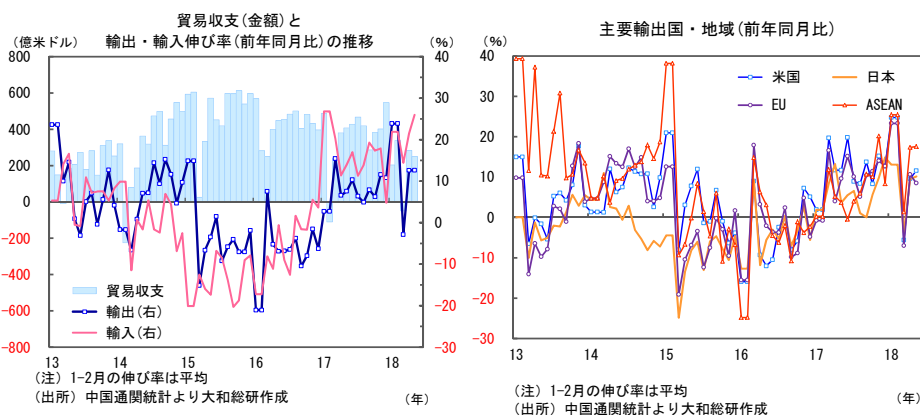
新築商品住宅価格（主要70都市の前月比変動都市数と、前年比で見る上位・下位3都市）



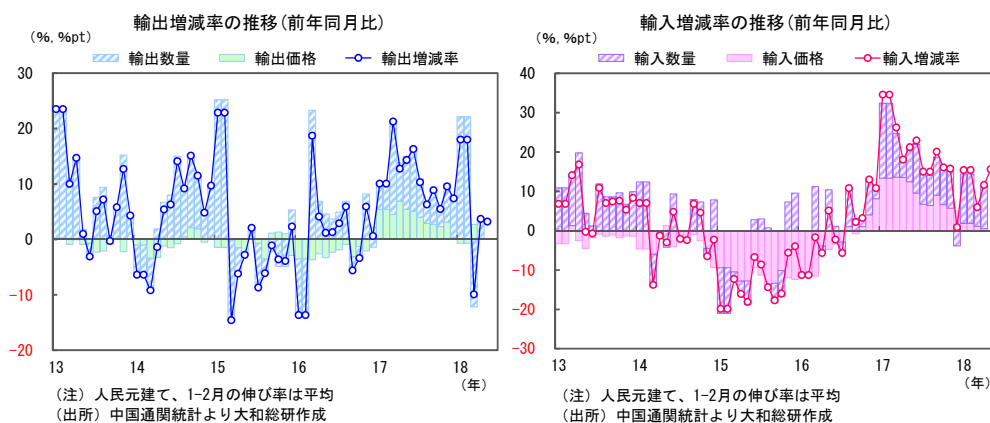
貿易

- ◆ 2018年5月のドル建て輸出は前年同月比12.6%増、輸入は同26.0%増であった。貿易収支は249.2億米ドルの黒字となった。5月の輸出を主要貿易相手国・地域別に見ると、米国（4月：前年同月比9.6%増→5月：前年同月比11.6%増）、日本（4月：同9.5%増→5月：同10.2%増）、ASEAN（4月：同17.4%増→5月：同17.6%増）は伸び率が上昇した一方、EU（4月：同10.7%増→5月：同8.5%増）と伸び率が低下した。18年1～5月のドル建て輸出は前年同期比13.3%増と2017年の前年比7.9%増から伸び率は上昇し、ドル建て輸入も前年同期比21.0%増と2017年の前年比16.1%増から伸び率が上昇した。輸入の伸び率が相対的に高く、1～5月の貿易収支は前年同期比26.8%減の996.7億米ドルの黒字となった。
- ◆ 貿易不均衡問題が焦点となっている米国との貿易収支を見ると、1～5月は、1,050.4億ドルの黒字で前年同期比13.0%増と2017年の前年比10.0%増より伸び率が上昇している。米国政府は、5月29日に500億ドルの中国製品に25%の関税を課すとした。米国は6月15日に中国へ関税を賦課する品目について公表し、中国は対抗措置を発動すると発表した。さらに、米国は追加で中国からの輸入品の2,000億ドル分に10%の関税を課すと表明している。
- ◆ 18年5月の人民元建て輸出伸び率は前年同月比3.2%増、輸入は同15.6%増、1～5月の人民元建て輸出は前年同期比5.5%増、輸入は同12.6%増となった。

輸出入の推移（ドル建て）、主要輸出国・地域



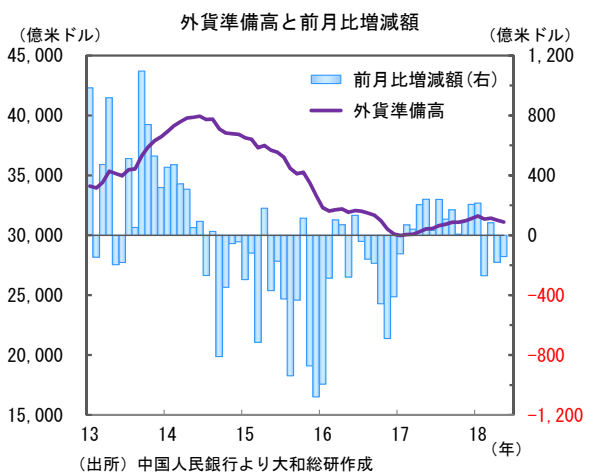
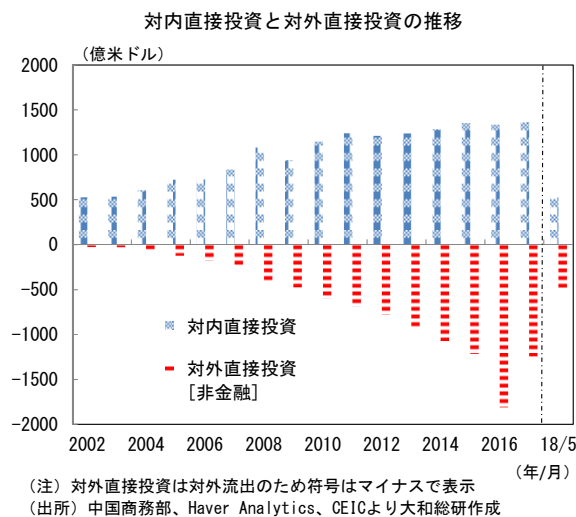
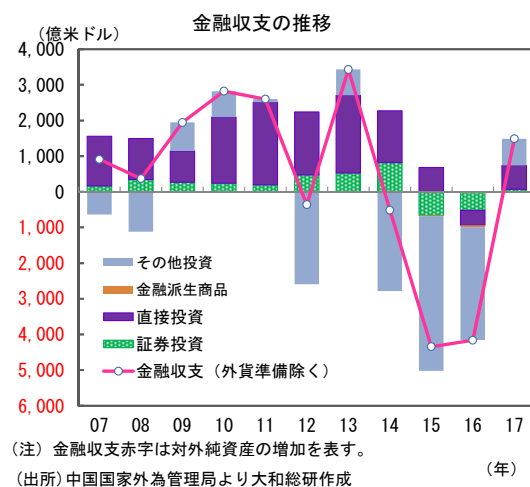
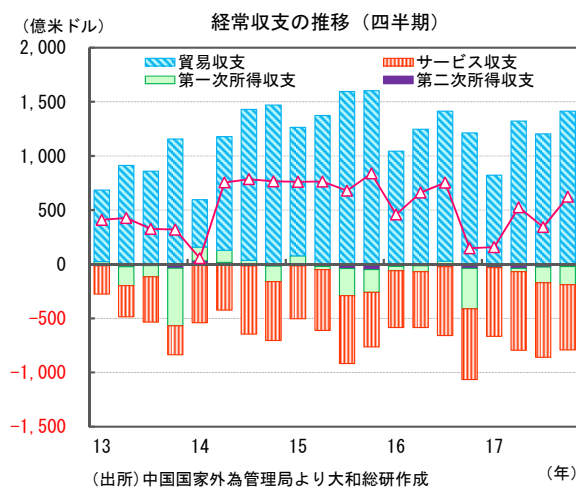
輸出入の推移（人民元建て）、価格・数量



国際収支

- ◆ 2018年1～5月の中国から海外への対外直接投資（非金融）は479億米ドルだった。前年同期比は38.5%増と、18年に入りプラスが続いている。
- ◆ 1～5月の対内直接投資（金融＋非金融）は527億米ドルだった。前年同期比は3.6%増と、17年11月からプラスが続いている。
- ◆ 5月末の外貨準備高は3兆1,106億米ドルと、2ヶ月連続で前月比で減少した。ドル高によりユーロ建てや円建てなどの資産価格が目減りしたことが要因の一つだと考えられる。

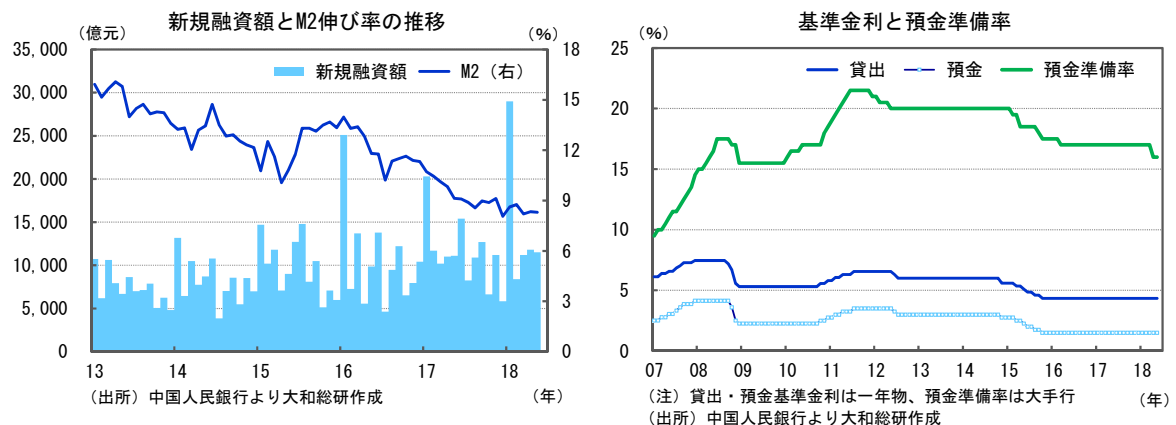
経常収支、対内・対外直接投資、外貨準備高



金融

- ◆ 2018年5月末のM2伸び率は前年同月比8.3%、4月末の同8.3%から伸び率が変わらなかった。
- ◆ 1～5月の社会資金調達金額(社会融資総量)は前年同期比15.3%減と、2017年の前年比9.2%増から伸び率がマイナスに転じた。シャドバンキングの規制により委託貸出や信託貸出が低迷していることが主因である。5月末の社会資金調達金額残高は182兆1,365億円で、前年同月比10.3%増と、2017年末の同11.9%増から伸び率が低下した。

M2と金利



社会資金調達金額(社会融資総量)の増加額と残高

社会融資総量の増加額(億元)								
	全体	内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2008年	69,804	49,042	1,947	4,261	3,145	1,065	5,523	3,325
2009年	139,105	95,943	9,265	6,780	4,364	4,607	12,369	3,352
2010年	140,191	79,450	4,853	8,749	3,864	23,347	11,060	5,786
2011年	128,286	74,715	5,712	12,964	2,032	10,272	13,659	4,377
2012年	157,631	82,038	9,163	12,838	12,846	10,498	22,551	2,508
2013年	173,168	88,917	5,849	25,466	18,403	7,756	18,112	2,219
2014年	164,134	97,815	3,554	25,069	5,175	-1,281	23,816	4,350
2015年	154,063	112,693	-6,427	15,911	434	-10,567	29,388	7,590
2016年	178,022	124,372	-5,640	21,854	8,593	-19,531	29,993	12,416
2017年	194,445	138,432	18	7,770	22,555	5,364	4,421	8,759
2018年1～5月	79,213	70,858	239	-6,366	-240	933	8,900	2,254
前年同月比(%)	-15.3	4.8	-40.4	純増⇒純減	純増⇒純減	-84.2	純減⇒純増	-41.1

社会融資総量の残高(億元)								
	全体	内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2008年	379,765	298,625	11,993	18,599	6,877	12,626	14,358	15,965
2009年	511,835	392,095	18,649	25,258	11,238	17,234	26,734	18,886
2010年	649,869	470,121	21,614	36,422	15,103	40,586	38,042	24,722
2011年	767,478	545,811	24,445	44,143	17,142	50,651	51,814	29,098
2012年	914,186	627,682	31,095	51,692	29,999	61,136	74,819	31,601
2013年	1,074,575	716,813	33,333	72,214	48,329	68,839	92,925	33,718
2014年	1,228,591	814,300	34,700	93,300	53,500	68,660	116,900	37,690
2015年	1,382,824	927,521	30,193	110,099	54,539	58,544	146,258	45,251
2016年	1,559,644	1,051,860	26,301	131,950	62,758	39,022	179,199	57,722
2017年	1,746,370	1,190,293	24,780	139,720	85,314	44,386	183,748	66,456
2018年5月	1,821,365	1,261,018	24,852	133,297	85,163	45,333	191,366	68,735
前年同月比(%)	10.3	12.6	-5.9	-3.4	16.0	0.9	8.3	11.7

(注) 社会融資総量とは、金融システムから経済に供給された資金のネット増加額(または減少額)内訳と合計は一致しない。社会融資総量の増加額に関しては、月次金額の合計値を使用
(出所) 中国人民銀行より大和総研作成

株価と為替

- ◆ 2018年5月の上海総合指数、深圳成分指数はそれぞれ月間1.3%下落、2.3%下落だった。下旬に米中貿易摩擦への懸念が再浮上したことなどからIT関連株などが下落した。
- ◆ 5月末の人民元の対米ドルレートは6.4144元/ドルと月間0.74%の元安となった。6月21日時点の対米ドルレートは6.4706元/ドルと4月末比で0.88%の元安であった。米国の長期金利上昇が背景の一つだと考えられる。
- ◆ BISの5月（月中平均）の人民元の実質実効為替レートは、前月比0.7%の元高、前年同月比7.4%の元高であった。

株価指数の推移



人民元の対主要国際通貨為替レート、実質実効為替レート

